日本語

The Museum of the Imperial Collections,
Sannomaru Shozokan

皇居三の丸尚蔵館

皇居三の丸尚蔵館 外観（東面）

国宝《動植綵絵》伊藤若冲　江戸時代（18世紀）　4幅（30幅のうち）

皇居三の丸尚蔵館について

三の丸尚蔵館は、平成元年（1989）に上皇陛下と香淳皇后（昭和天皇の皇后）により、皇室に代々受け継がれた絵画、書、工芸品、歴史資料などが国に寄贈されたことを受け、その保存と研究、公開を目的に、宮内庁三の丸尚蔵館として同5年（1993）11月に皇居東御苑内で開館しました。

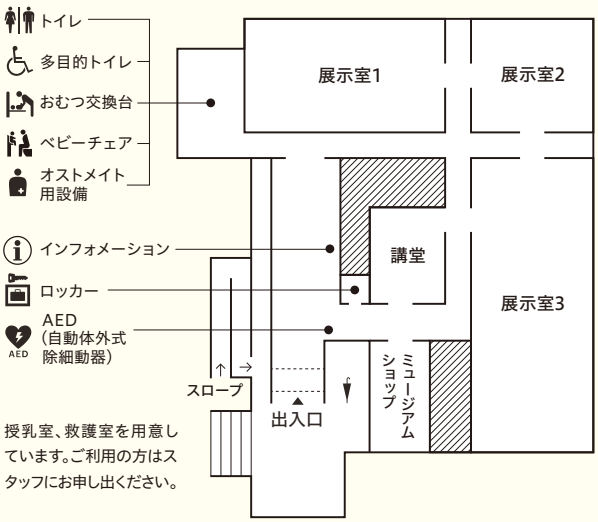
館名の「尚蔵」は、古代律令制において天皇に関わる器物を管理する蔵司の長官「くらのかみ」に由来し、大切に保管するという意味を持ちます。また旧江戸城三の丸の地に建設されたことから、「三の丸尚蔵館」と名付けられました。

その後、平成8年（1996）に旧秩父宮家、同13年（2001）に香淳皇后ご遺品、同17年（2005）に旧高松宮家、さらに同26年（2014）に三笠宮家から、それぞれご寄贈を受け、収蔵品に加わりました。

令和元年（2019）からは、収蔵庫と展示室を拡充し、より充実した活動を行うために、新たな施設の建設が進められました。同5年（2023）には管理・運営が宮内庁から独立行政法人国立文化財機構へ移管され、同年11月に「皇居三の丸尚蔵館」の名称で、一部を開館しました。そして、同8年（2026）11月に全面開館しました。

当館は、皇室から受け継いだ文化財を次の世代へ伝えるとともに、皇室と文化の関わりを紹介する拠点として、より多くの方々に親しまれる施設を目指しています。

フロアマップ



写真撮影について

撮影の可否は展覧会によって異なります。詳細は、館内掲示等でご確認ください。なお、撮影可能な展覧会においては、以下にご注意ください。

◎動画、パノラマ撮影はご遠慮ください。
◎フラッシュ、三脚、自撮り棒は使用できません。
◎撮影の際は長時間場所を占有しないようにご注意ください。

聴覚に障がいのある方へ

受付にて筆談対応を行っております（日英対応可能）。
ご利用を希望される方はお申し出ください。

補助犬の入館について

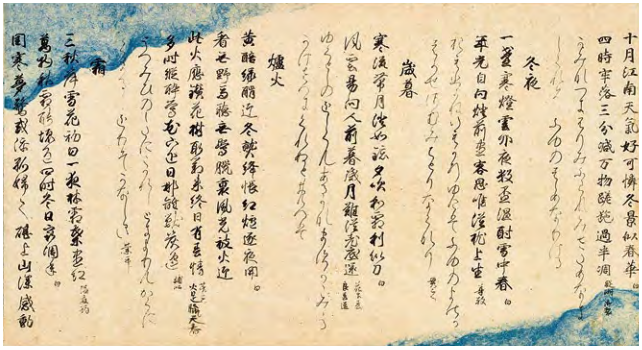
盲導犬、介助犬、聴導犬を伴ってご入場いただけます。

皇居三の丸尚蔵館の収蔵品は、
皇室に代々受け継がれた品々を中心に
構成されています。
皇室や宮廷文化に関連する作品の
収集に努めています。

1

江戸時代以前より皇室に伝わる作品

皇居三の丸尚蔵館の収蔵品のなかでまず注目されるのは、江戸時代以前より皇室に伝わった作品です。平安時代の名筆である京都御所伝来の《雲紙本和漢朗詠集》（国宝）、旧桂宮家伝来の海北友松《浜松図屏風》（重要文化財）や狩野探幽《源氏物語図屏風》など、御所を中心に花開いた宮廷文化を今に伝えます。


2

4

皇室へ献上された品々

明治時代以降、社寺や旧大名家などから皇室に献上された作品も収蔵品の大きな特徴となっています。書聖として尊ばれた王羲之の書を伝える《喪乱帖》（国宝）、鎌倉時代の絵巻を代表する高階隆兼《春日権現験記絵》（国宝）や《蒙古襲来絵詞》（国宝）、狩野永徳《唐獅子図屏風》（国宝）、伊藤若冲《動植綵絵》（国宝）のように美術史を彩る著名な作品。法隆寺より皇室へ献納された法隆寺献納宝物や、徳川将軍家に伝えられた名刀《刀 無銘 正宗（名物若狭正宗）》など、歴史的な評価の高い工芸作品も含まれます。
皇室の御慶事に際して献上された作品には、その当時のすぐれた美術工芸品も少なくありません。

5

1 《木画箱（法隆寺献納宝物）》 中国・唐時代（7～8世紀）
2 国宝 《雲紙本和漢朗詠集》巻上（部分） 源兼行 平安時代（11世紀）
3 国宝 《唐獅子図屏風》（右隻） 狩野永徳 安土桃山時代（16世紀）
4 国宝 《春日権現験記絵》（部分） 高階隆兼 鎌倉時代、延慶2年（1309）頃
5 《刀 無銘 正宗（名物若狭正宗）》 相州正宗 鎌倉時代（14世紀）
6 重要文化財 《明治十二年明治天皇御下命「人物写真帖」》 大蔵省印刷局ほか
明治13年（1880）頃
7 重要文化財 《七宝四季花鳥図花瓶》 並河靖之 明治32年（1899）
8 重要文化財 《菊蒔絵螺鈿書棚》 川之邊一朝ほか 明治36年（1903）
9 《官女置物》（部分） 旭玉山 明治34年（1901）
10 《罌粟》（左幅） 土田麦僊 昭和4年（1929）
11 重要文化財 《蘭陵王置物》 海野勝珉 明治23年（1890）
12 《ボンボニエール》 大正～昭和時代（20世紀）

6

7

御下命による作品

御下命による（天皇や皇后の命を受けて制作された）作品は、皇室が制作に関与した事例として歴史的にも注目されます。《明治十二年明治天皇御下命「人物写真帖」》（重要文化財）は明治天皇の命を受けて制作された、約4,500名に上る皇族や政府高官の肖像写真を収めた写真帖です。並河靖之《七宝四季花鳥図花瓶》（重要文化財）をはじめ1900年のパリ万国博覧会に出品された一群の作品は、わが国の美術工芸の水準の高さを世界に示すため明治天皇が帝室技芸員に命じて制作されました。他にも「明治の三大製作」と呼ばれたうちの一作、川之邊一朝らによる《菊蒔絵螺鈿書棚》（重要文化財）も同じく明治天皇の命を受けて皇居の中に設けられた作業場で制作された、近代漆工を代表する名品です。

8

御買上となった作品

また、同時代の博覧会や展覧会で皇室の御買上となった作品にも、日本美術協会美術展覧会に出品された旭玉山による牙彫の大作《官女置物》や、帝国美術院展覧会に出品された土田麦僊《罌粟》など、近代美術の優品の数々が見られます。

10

9

11

近・現代における皇室の文化を象徴する作品

日本美術以外では、皇室が海外の国々との親善のなかで贈り物として受け取られた作品があります。各国の文化的特徴や民族性豊かな造形に親しむことができ、とても興味深いものです。その他、皇室の文化を伝えるものとしては、御慶事の際に出席者に配られる銀製の菓子器ボンボニエールや、明治天皇の地方巡幸に関わる写真が特筆されます。

12

●開館時間

9:30〜17:00　※最終入館は閉館30分前まで

●休館日

月曜日（ただし月曜が祝日または休日の場合は開館し、翌平日休館）、
年末年始、天皇誕生日および展示替期間

※その他諸事情により臨時に休館する場合があります。

●観覧料

展覧会ごとに異なります。

※障がい者手帳をお持ちの方および介護者1名は無料。

※無料対象者に該当する場合は、そのことを係員が確認するため、入場時に証明書をご提示ください。

入館方法、開館時間、休館日、展示等の最新情報は
皇居三の丸尚蔵館ウェブサイトをご確認ください。

https://shozokan.nich.go.jp/

皇居三の丸尚蔵館　公式Instagram / YouTube　@shozokan_pr

〒100-0001　東京都千代田区千代田1-8（皇居東御苑内）
お問い合わせ　050-5541-8600（ハローダイヤル）

●皇居三の丸尚蔵館までの所要時間

大　手　門から入門 ≫ 地下鉄各線 大手町駅 C13a 出口から徒歩約5分
JR東京駅 丸の内北口 から徒歩約15分

大手門以外からの入門（月曜日・金曜日閉門、その他皇居東御苑の公開日時に準ずる）

平　川　門から入門 ≫ 地下鉄東西線竹橋駅 1a 出口から徒歩約10分
北桔橋門（きたはねばし）から入門 ≫ 地下鉄東西線竹橋駅 1a 出口から徒歩約15分

※皇居東御苑閉園時の入門は、大手門のみとなります。

※皇居東御苑の公開日時は、宮内庁ホームページ内・皇居東御苑のページをご確認ください。

※入門にあたり手荷物検査が行われます。ご来館の際にはお時間に余裕をもってお越しください。

※入園者は皇居東御苑内に車両を乗り入れることができません。専用駐車場、駐輪場はございませんので、周辺の駐車場・駐輪場をご利用ください。

表紙：皇居三の丸尚蔵館　外観（東南面）

2026. 09. ©The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan